

矢田俊隆 （註） 西洋史學者。大正四年七月（二十三日）三重縣生れ（一九一五）。昭和十二年東京帝國大學文學部西洋史學科卒。成蹊大學、北海道大學各教授歴任。

譯書、ナリードリツヒ・マインツケ著「獨逸國民國家發生の研究」(昭和十八年二月十日富山房)、同「ドイツの悲劇―考察と回想」(昭和二十六年十一月二十日弘文堂「ウツテネ文庫」)、同「世界市民主義と國民國家―ドイツ國民國家發生の研究」全二冊(Ⅰ・昭和四十二年七月二十七日、Ⅱ・四十七年七月二十七日岩波書店)等。

著書「女性西洋史」(合著・山上正太郎編、昭和二十八年七月十五日養徳社)、「コハプスブルク帝國史研究」(中欧多民族國家の解体過程)」
(昭和五十一年十月二十七日岩波書店)等。